

# 島根県感染症情報(週報) 2006年 第30週 (7/24~7/30)

## 県内感染症情報(概況)

### 1) 全数報告感染症(1~5類感染症)

今週の報告はありませんでした。

### 2) 定点報告5類感染症

- 咽頭結膜熱 : 県内全域で報告患者数が減少しています。ピーク時と比較して1/3に減少しましたが、夏季に流行しやすいので今後も注意する必要があります。
- A群溶連菌咽頭炎 : 年間途切れることなく流行していますが、夏季に入り報告患者数はピーク時の1/3と減少してきました。
- ヘルパンギーナ : 県内全域で大規模に流行しています。患者は主に4歳以下の小児で、保育所等の集団生活の場で感染しています。
- 水痘 : 初夏の流行期も峠を越え、報告患者数は全県で減少しています。
- 伝染性紅斑 : 過去10年間で最大規模の流行が全県で続いていましたが、終息しつつあります。
- 流行性耳下腺炎 : 依然、例年と比較して規模の大きな流行が10歳以下の児童を対象に全県で続いています。
- 無菌性髄膜炎 : 中部地区で数週間前から報告患者数が増加しています。

### 3) 主な病原体の分離状況等

無菌性髄膜炎からエコー30型ウイルスが、発疹症からコクサッキーA9型ウイルスが、ヘルパンギーナからコクサッキーA4型、A5型、A10型ウイルスが分離されています。

### 主な感染症の流行状況

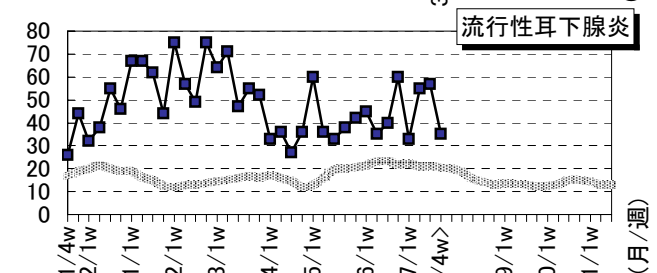
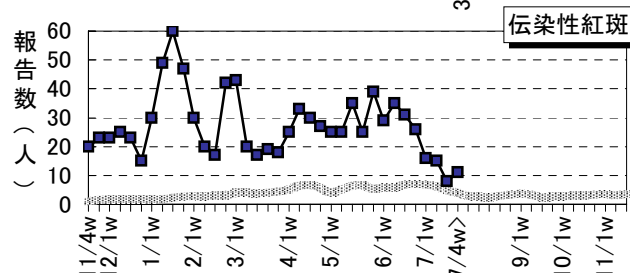
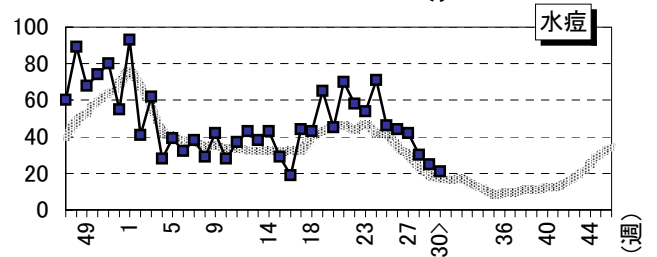
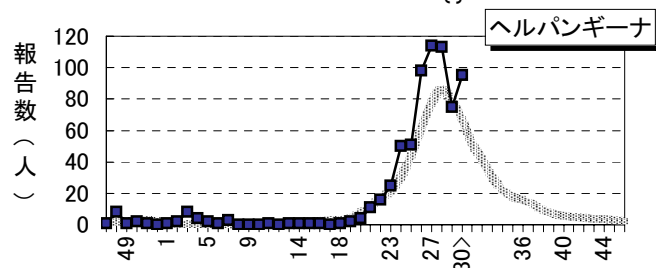
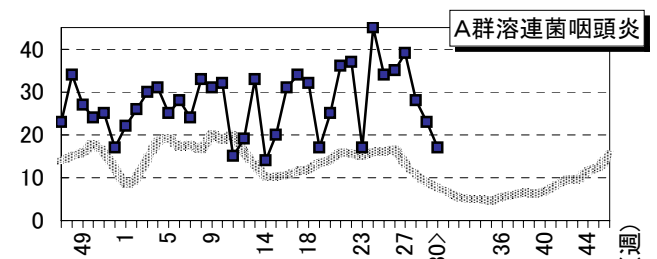
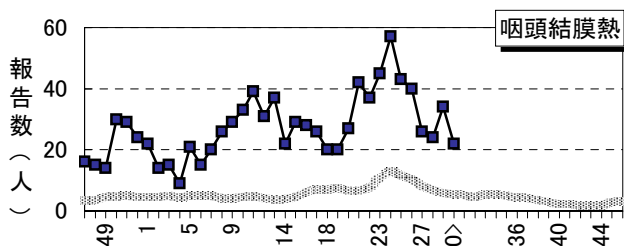
疾患名	全県	東部	中部	西部
咽頭結膜熱	⬇️ ◎	→ ◎	→ ○	→ △
A群溶連菌咽頭炎	⬇️ ○	⬇️ ○	⬇️ ○	→ ○
ヘルパンギーナ	→ ◎	⬇️ ◎	⬇️ ◎	→ ○
水痘	⬇️ ○	→ ○	⬇️ ○	→ △
伝染性紅斑	⬇️ ◎	→ △	⬇️ ○	⬇️ ○
流行性耳下腺炎	⬇️ ◎	⬇️ ○	→ ◎	→ ○

#### 今週の流行状況の記号

- ◎ 流行している      ○ やや流行している
- △ 散 発              × 患者報告なし

#### 過去4週の流行の推移

- ↑ 急 増                      ⬇️ 減少傾向
- ↗ 増加傾向                ⬇️ 急 減
- 横這い                      ・ 報告なし



※地区別等の詳しいグラフはホームページをご覧ください。

2006(平成18)年 8月2日  
 島根県保健環境科学研究所  
 島根県感染症情報センター  
 Tel:0852-36-8188  
 Fax:0852-36-8356  
[www2.pref.shimane.jp/hokanken/kansen/kansen@pref.shimane.lg.jp](http://www2.pref.shimane.jp/hokanken/kansen/kansen@pref.shimane.lg.jp)

⋯⋯⋯⋯ 過去5年の平均      —■— 島根県

